

ギター&ヴァイオリン with せともの打楽器

2021.06.27_Sun
瀬戸市文化センター 文化ホール

弦のひびき、陶のリズム

せとものの故郷で生まれる《情熱の音楽》

今年生誕100周年“タンゴの革命児”ピアソラの名曲を、瀬戸ならではの“弦楽器と陶楽器”のコラボで!! せともの打楽器の開発と演奏に取り組むパーカッション奏者、詩貴(しき)を迎えて、スペインや南米の情熱と郷愁の音楽を、実力派ギター&ヴァイオリン・デュオが鮮やかに奏でる。

せともの打楽器は喜多窯霞仙 加藤裕重さんが制作したものです



生田直基/いくたなおき Guitar

春日井市出身。13歳からギターを始め、早稲田大学在学中にクラシックギターに出会い、英国に留学。トリニティカレッジ・クラシックギター科卒。これまでに10か国以上で演奏やマスタークラスを行う。国内でも地元名古屋を中心に多数の演奏会に出演。中部日本ギター協会副会長、名古屋ギターフェスティバル実行委員長としてコンサート企画の分野でも活躍。



水野慎太郎/みずのしんたろう Violin

みよし市出身。名古屋芸術大学音楽部器楽科卒業。2004年からブラハ音楽院留学。その間に現地の南米出身ミュージシャンたちとタンゴ・バンド「SIN-RUMBO」を結成し、ヨーロッパ各地で演奏。その後アルゼンチンへ渡り、ピアソラ五重奏団最後のヴァイオリニストとして著名なF.スアレス・パス氏に師事。現在フリーの演奏家として、クラシック、タンゴ、ジャズなど多方面で活動中。



詩貴/しき Setomono Percussion

瀬戸市在住。名古屋音楽大学打楽コース・マリンバ専攻卒業、同大学院修了。中部打楽協会主催パーカッションフェスティバル新人代表演奏、日本木琴協会主催全国選抜マリンバ大会ほか多数の演奏会に出演。2013年岐阜国際音楽コンクール第3位。アンサンブル『Shiki's Friends』、瀬戸市発祥のデュオ『オトナリ²(オトナリ)』を主宰。近年、陶磁器製の打楽器の開発と演奏に携わる。昨年11月瀬戸蔵つばきホールにて「せともの打楽器おひろめコンサート」を開催。

ClosetoYou^{クロセトユー}とは

もっと感じる、setoと音楽。

2017年から開始された文化ホールのロビーコンサート《陶壁クラシック》は、昨年コロナ禍の影響で休止に追い込まれました。これを機に「お客様同士の距離を取りながらも舞台と客席の一体感を創り出す」ことを目的に、ホールの客席を一部取り払い、そこを舞台とする新しいコンサートシリーズが誕生しました。本来、舞台と客席を仕切る「緞帳」が、「陶壁」に代わって舞台背景となっている点にもご注目ください。他にはない演奏空間で、より身近に音楽を感じてみませんか?



このコンサートは、新型コロナウイルス感染症対策を
図るとともに地域のアーティスト支援を目的としています。

新型コロナウイルス
感染症対策実施中

ご参加いただくために必要なこと

- 電話での予約の場合、座席の指定はできません。
- 当日発熱及び風邪の症状がある場合にはご入場いただけません。
- 過去2週間以内に海外への渡航歴がある方はご入場できません。
- 来館時にはマスク着用及び手指消毒をお願いします。
- 今後の状況により公演を中止する場合があります。

瀬戸市文化ホールの感染予防対策

- 座席やトイレ、楽屋などは定期的に消毒をしています。
- ホール内、ロビー、楽屋及び通路は空調による換気を行い、また定期的に外気による換気も行っています。
- 指定座席は、前後左右の間隔を確保しています。
- スタッフは最少人数で対応し、全員マスクを着用しています。
- 入場時に検温を行います。
- 館内および会場出入口付近に消毒液を設置しています。